

2015.8.31

第1073回例会

2015～16年度

国際ロータリー会長
第2790地区ガバナー
第3分区Aガバナー補佐

K・R・ラビンドラ
櫻木 英一郎
山本 康昭

CHIBA-HIGASHI ROTARY CLUB Weekly Report



Be a gift
to the world

世界への
プレゼントになろう

地区テーマ 「原点を知り、考える」

会長テーマ 「ロータリーを知り、楽しもう」

会長 武田 康
幹事 穴倉 壽夫

炉辺会議・新入会員歓迎会

場所：『うおはな』

会 長 挨拶

武田 康 会長



皆様、こんにちは。

本日は炉辺会議と新入会員歓迎会でございます。今更ではありますが、ロータリーは、1905年2月23日が創立記念日です。明治38年日露戦争の最中でした。

当時のアメリカは経済恐慌で人の心も荒れすさんでおりました。シカゴで法律事務所を開いていた弁護士のポール・ハリスが、4～5人の友達を説いて歩き、職業の異なった人達が集まって、お互いの仕事についてのアイデアの交換をし、お互

いを助け合いながら、仲良く話し合うような会合を持つてではないか、と言いました。そこで参集したのが、鉱山技師・石炭商・洋服商の3名であり、鉱山技師の ガスターバス・E・ローアの事務所に集まったのが最初の会合でありました。そして、お互いの事務所を順に廻って会合したことから、ロータリーと名付けられました。わずか4名で始められたロータリーもいまは200の国家にクラブ数 33000、会員数120万人を数える迄に発展しております。

本日は素朴な疑問、ロータリーは何故にホテルで例会をするのか？についてお話しします。

先ほど申し上げたように、第一回目の会合は1905年2月23日にレストランで夕食を取った後、鉱山技師の事務所に4人が集まりました。第2回目は3月9日、7人がポール・ハリス弁護士事務所に集合、第3回目は3月23日、8人が石炭置き場に集合しました。

石炭商のシルベスター・シールが初代会長に選ばれました。このとき、保険業の チャールズ・ニュートンが新会員として加わりました。いずれにしても当時は夜例会でした。

ある時チャールズが例会に遅れました。さっそく50セントの罰金を支払うように言われたのですが、彼は食事に時間がかかったとの理由で、支払いを拒否しました。(アメリカ人的感覚)これがき

っかけとなりいろいろ話し合われて最終的にはチャールズの提案で、全員レストランで食事をすませ、各事業所持ち回りで例会をするようになりました。さらに、レストランで夕食と例会を一緒にする事になりました。しかし、会員数が増えていくに従いレストランでは賄えきれなくなり、ついにホテルに移動した模様です。

このチャールズは昼例会のアイデアを最初に提案した人物として記録されているようです。

ホテル開催の話題からそれますが、彼は特筆すべき人物で、ポール・ハリスと共に最初のクラブ定款を作ったひとです。また、クラブのルールを厳しく守ったひとでした。クラブ内の会員相互のトラブルを調停する一方、支払うべきお金は期日までに納めるよう会員に厳しく言いました。また、200人以上いた会員のうち、ロータリー精神に合わない100人の会員を退会させたエピソードも残っているようです。仕事もやり手で、200人のうち180人を保険に加入させたそうです。各種の委員会活動も熱心でしたが、会長就任だけは拒み続け、会員歴18年目に当たる1923年にやっと引き受けました。

余談ではありますが、ちなみに、わたくしは17年目でございます。

炉辺会議

加藤管理運営委員長から創立25周年についての説明、東クラブの今までの周年行事はどうだったか、等の話があり、その他クラブの管理組織等について話がありました。

25周年はクォーターになるのでクラブにとって最大級のお祝いです。近隣クラブにお披露目と感謝の意味もあり、クラブ内のお祝いではなく感謝の意味で、クラブ会員全員で「おもてなし」しましょう。



閉会点鐘

新入会員歓迎会

以下3名の方の歓迎会が開催されました。



米山会員

北野会員

安川会員

乾杯の音頭は辻直前会長未到着のため
吉田 宏一 直々前会長



創立：1991年1月21日
 認証：1991年3月6日
 例会場：ホテルニューオータニ幕張
 点鐘：毎月曜日18:30

事務局：千葉市稲毛区穴川3-5-27 上総ビル303
 TEL：043(251)2790 FAX043(251)2726
 Email：chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp
 URL：<http://www.chiba-higashi.jp/>

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員長 藤本 俊哉